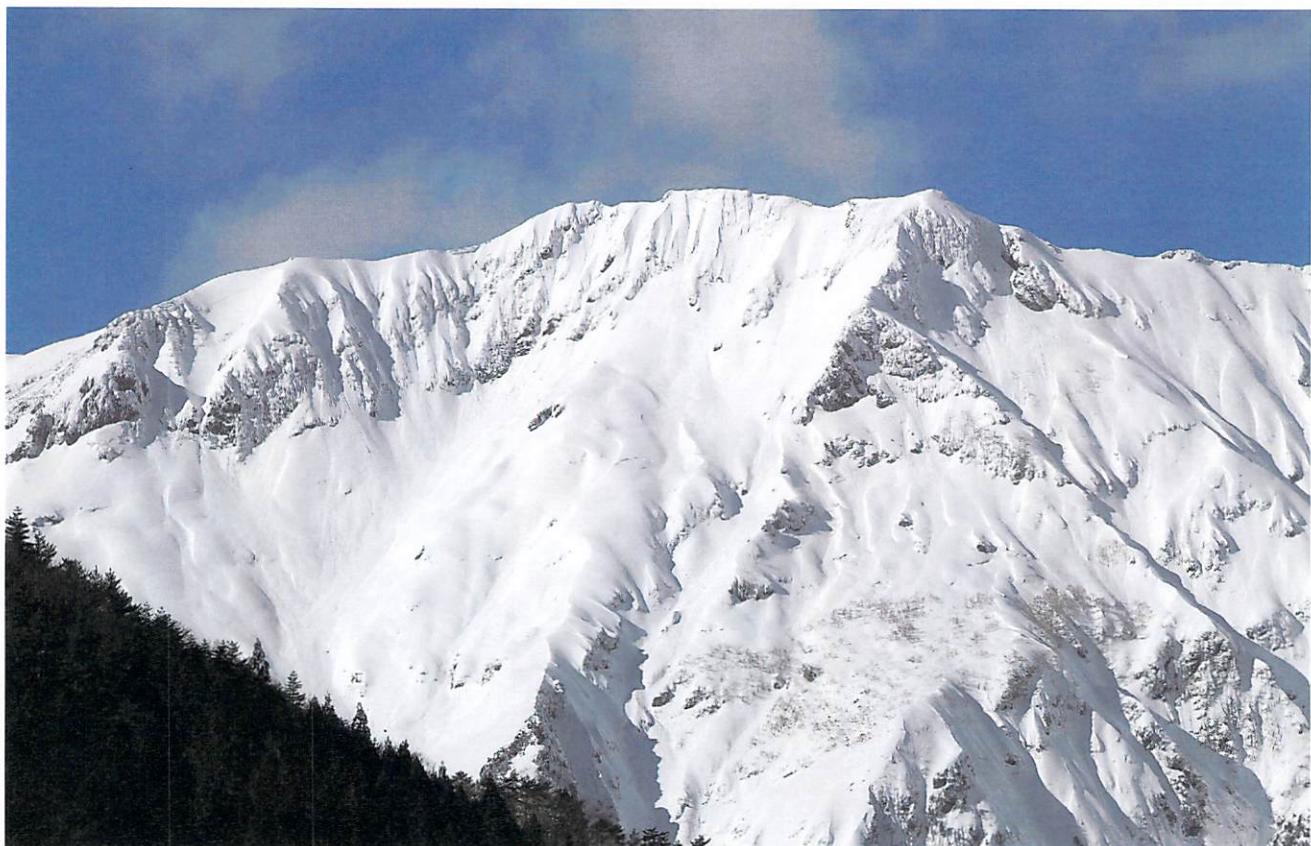




NHO沼田病院だより

National Hospital Organization Numata National Hospital



冬の谷川岳

理

念

基本理念 心のこもった質の高い医療を行う病院

- 基本方針**
- 1 患者を中心としたチーム医療で臨みます。
 - 2 患者の心に通うサービスに努めます。
 - 3 患者さんに信頼される健全経営を目指します。

行 動 姿 勢

- 1 現場主義—現場に戻ろう！
- 2 実績主義—隠れた実績を大切にしよう！
- 3 患者中心主義—患者の立場で考えよう！
- 4 チーム医療—お互いに助け合おう！

自分の意見をはっきり言おう！
相手の意見をしっかり聞こう！

行 動 指 针

政策医療と地域医療の実践

年頭の御挨拶

院長 前村道生

新年明けましておめでとうございます。



昨年は当院にとって大きな出来事が2つありました。一つは副院長に内科の根岸哲夫先生を、救急部長に外科の岩波弘太郎先生を任命したこと、そしてもう一つは地域包括ケア病床を導入したことです。副院長が不在のうちは私が兼任していた業務も多々あり、スムーズに遂行できなかった部分もあったと思います。これからは副院長および救急部長が私の両腕となり、3人で力を合わせて診療および病院運営を行ってゆきたいと思います。特に医療連携および救急患者の受け入れ面においては改善するべき点、課題点があります。地域の医療機関との間で時として連携がスムーズに行えない場合もあることは誠に遺憾であり、申し訳なく思っております。これらを改善すべく、副院長が室長を務める地域医療連携室を中心となって日頃から周辺医療機関との交流を深め、顔の見える関係を築き上げてゆきたいと考えております。また救急患者に関しても可能な限り受け入れができるよう、救急部長が中心となって院内体制の再構築を図ってゆきたいと思います。お気づきの点など、皆様の忌憚のないご意見を伺えれば幸いです。

全国的にもそうですが、特に利根沼田地域においては高齢化率が今後どんどん上昇してゆくのは確実です。こうした時代の流れを背景に、地域における医療ニーズは徐々に変化してゆきます。当院は今まで主に急性期の患者さんの治療を行ってきた病院ですが、これからはこうした高齢化社会の波を受け、急性期を過ぎて在宅に戻ろうとしている患者さんに対して、回復期の医療を提供するのも我々に与えられた使命の一つではないかと考えるようになりました。急性期と回復期の機能を併せ持つ医療機関は利根沼田地域には存在せず、施設を移ることなく急性期から回復期の医療に移行できるのは患者さんにとっても、またそのご家族にとっても有用なことではないかと考えております。こうした観点から当院では昨年11月より従来の5病棟の一部を改修し、主に回復期の患者さんを対象とした地域包括ケア病床として運用を開始しました。限られた病床数ですので入退院の調整に苦慮することもありますが、今後ニーズを見極めながら、必要であればさらに当該病床の拡大も検討してゆきたいと考えております。地域包括ケア病床に関する皆様のご理解を宜しくお願い申し上げます。

新棟の整備計画に関しても一言申し述べさせていただきます。昨年来お話をさせていただいている新病棟の建築ですが、昨今の建築費の高騰に伴い予定の費用内には収まらず、入札が不調に終わっています。現在予定価格の調整などに努力しており、着手までもう少しお時間を戴きたいと思いますのでご了承ください。



今後も地域の皆様に支持されるよう、そして患者さんに対して安全で心のこもった医療が提供できるよう、職員一同努力してゆきたいと思います。今年も宜しくお願い申し上げます。

循環器内科のご案内

内科医長 林 学

循環器内科では飯塚医長と林の二名体制で診療をおこなっております。担当する領域は心臓病全般と血管病変になりますが、もっとも多く扱う疾患は“心不全”です。一言で心不全といってもその原因は様々です。心不全は結局のところ「心臓から必要十分な血液が全身に送り出せていない状態」といえます。このために息切れを感じます。さらに、血液が心臓からこぼれだす状態になると“うつ血性心不全”と言って激しい呼吸困難をきたします。下にあるのは、うつ血性心不全で入院された方のX線写真です。こうなってしまうと治療が遅れれば命に関わりますし、そうでなくとも長い入院治療、リハビリが必要になってきます。

当科ではこうした事態を可能な限り避けるように、体への負担の少ない検査を優先して行い、早めの治療をすすめています。息切れを訴える患者さんが来られた場合は、まず心電図で不整脈がないかどうか、心筋梗塞をした形跡がないかどうか、レントゲンで現在の心臓の大きさはどうか、うつ血はないかをチェックします。また心臓以外に貧血や腎障害の要素はないか、血液検査もチェックいたします。

心臓病が疑わしければ、心臓超音波で心臓の動き、弁の異常の有無などを確認します。動いたときの症状が主体であれば運動負荷心電図といって、ベルトコンベアーような機械のうえを走りながら心電図、血圧、体内の酸素量をチェックしていきます。心筋梗塞や狭心症といった心臓を養う血管「冠動脈」に由来する病気が疑わしい場合は、心筋シンチグラムという「心臓に血液が足りているか?」を確認する検査や、冠動脈そのものをみる心臓MRIも可能です。シンチグラムとMRIは検査時間が長いのが玉にキズですがこれらはすべて外来で検査可能です。

種々の検査を組み合わせながら最終的に入院や手術をすすめさせて頂いていますが、あぶないなど感じた場合は症状が軽くても至急入院して頂くこともあります。

それは何より下図のような緊急事態になってほしくないからです。息切れを感じたら心疾患以外の鑑別を含め対応いたしますのでご相談ください。



緊急入院時



治 療 後

職場紹介 2階病棟

2階病棟看護師 青柳 純子



当病棟は、外科・放射線科を主とした混合病棟44床とハイケアユニット(HCU) 3床を有する47床の病棟です。

医師は、院長をはじめとする外科医師5名、放射線科医師1名です。主な治療は、消化器疾患・乳腺、甲状腺の検査や手術、化学療法、ターミナルケア、放射線科では照射を主とした放射線治療を行っています。

看護師25名と看護助手3名合わせて28名です。勤務体制は、3交替制勤務で受け持ち制をとっています。一般病床ではA・Bチームに分かれ、入院から退院まで、受け持ち看護師が中心となり、責任を持って患者さんやご家族の思いを大切にし、その人らしさを支える看護を提供できるよう、チームで協力し日々の看護ケアに取り組んでいます。

HCUは、内科の心筋梗塞や重症の患者さん、手術後の患者さんに専門的なより質の高い医療・看護を提供できるよう自己研鑽に努めています。

医師・コメディカルと協力し良いコミュニケーションを心掛け、何でも相談できる関係を築くようにしています。明るい雰囲気と笑顔が2階病棟のチャームポイントです。



沼田病院 まちの保健室のご案内

総看護師長 大草 由美子



「病院に行くほどでもないけど、ちょっと相談したい」「お買い物ついでに血圧を測ってもらえたらしいなあ」そんな気持ちに寄り添い、地域住民の皆様の健康を見守ることができたらと考え、沼田病院まちの保健室を開催する運びとなりました。

開催場所、内容を検討しておりましたが、病院と距離が近く地域住民の多くの皆様が利用されますフレッセイ沼田ビバタウン店の店長さんにお願いしたところ、快く休憩コーナーをお借りできることとなりました。

これまでの参加者は、9月17日12名、10月15日29名、11月19日11名、12月17日20名とまだまだ宣伝不足と反省しているところです。

「まちの保健室」は学校にある保健室のように「いつでも、誰でもが気軽に立ち寄って心や体の相談ができる」というキャッチフレーズで、全国各地の看護協会が様々な機関と提携して行っている事業です。当院では、群馬県看護協会と提携し「沼田病院 まちの保健室」を実施する運びとなりましたので、是非お気軽に立ち寄り頂ければ幸いです。

内 容	血圧測定 体脂肪測定 健康相談 乳がんモデルによる自己検診方法の説明等
日 時	毎月第3水曜日 10:30~11:30
場 所	フレッセイ沼田ビバタウン店 休憩コーナー
相談者	医師・看護師・コメディカル等
料 金	無 料



がん診療連携拠点病院 市民公開講座

地域医療連携係長・看護師長 田中 敦子



12月7日（日）沼田市のディランにおいて、当院主催の内村鑑三記念「がん哲学外来3周年公開シンポジウムがんに聞く」を開催いたしました。

当日の講師の方々と講演内容について紹介致します。



TBSテレビ報道局解説者・報道局エキスパート部長・JNN「報道特集」担当の小嶋修一先生「がんサバイバーって何？」、読売新聞東京本社編集局社会保障部次長の本田麻由美先生「乳がんを体験して学んだこと」、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授の樋野興夫先生「がん哲学外来がん医療における対話」です。

それぞれメディアに出てい

らっしゃる先生方ですのでご存じのかたも多いと思います。

今回は、県内各地区より90人以上の皆さんにご来場いただきました。時間の都合で、先生方の講演のみとなりましたが、とても興味深い内容で、来場いただいた皆さんに満足いただけたと確信しております。



「がん哲学外来」は、群馬県民ならご存じの「心の灯台、内村鑑三」を敬愛する病理学者の樋野興夫先生が、医療の「すき間」を埋めるため、「偉大なるお節介」を信条とし開設されました。当院でも毎月1回がん患者さんおよびご家族を対象に無料で行っています。

ご希望の方は、沼田病院地域連携室までお問い合わせください。
(電話：0278-23-3972)



群馬県緩和医療研究会



2階病棟 看護師 二神 秀寛

平成26年10月4日利根沼田文化会館において第30回群馬県緩和医療研究会が「終末期患者の生きがい」というテーマで開催されました。その中で私は、終末期患者との関わりを通して学んだことについて発表しました。会場では、口演、ポスターセッションの2会場に分かれ医師、コメディカル問わず、多職種の方の発表を聞き多くの学びを得ることができました。



口演では、終末期患者の生きがいを支えるという点でチーム医療の重要さを改めて実感しました。終末期患者の生きがいを支えるためには、患者本人だけでなく周りの環境が重要になってきます。その場を整えるために、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、薬剤師、栄養士などの協力が必要不可欠であり、チームとして効果的に関わっていくことにより、患者の生きがいを支える事が出来るという事を今回の研究会を通して学ぶことができました。

ポスターセッションでは作業療法士の方が終末期患者の生きがいを支援するためにCOPM（カナダ作業遂行測定法）という指標を用いて評価し効果的な関わりが出来たという発表がありました。私は、日頃から苦痛を抱えたがん患者さんの生きがいを支える事に困難を感じる事があったため、この発表に非常に関心を持ちました。今後は、これらの発表を参考にして、終末期がん患者との関わりに困難を感じた時、チームで共有できるような指標を用いて関わることも一つの方法ではないかと考えました。他施設、他職種との交流は自己の看護に活かしていく上でよい経験となりました。



終末期患者は全人的苦痛を抱えており、生きがいをもつことが困難な状態であり、医療従事者の支援が必要不可欠な状態であると言えます。今回の研究会に参加しチーム医療の重要性、患者さんの気



持ちに寄り添った支援の重要性を改めて実感しました。今回の発表の中で学んだことを生かし、日々の看護につなげていきたいと思います。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014ぐんま



企画課給与係 町野 瞬

夏の暑さが落ちつき、秋風が心地よく感じる10月の連休に今年もリレーフォーライフが開催されました。

リレーフォーライフとは、がん患者や家族、その支援者の方々ががん征圧への願いを込めて24時間にわたり、公園やグラウンドなどの会場を歩きながら寄付を募るチャリティーイベントで1985年にアメリカで始まって以来、世界20か国で開催されています。



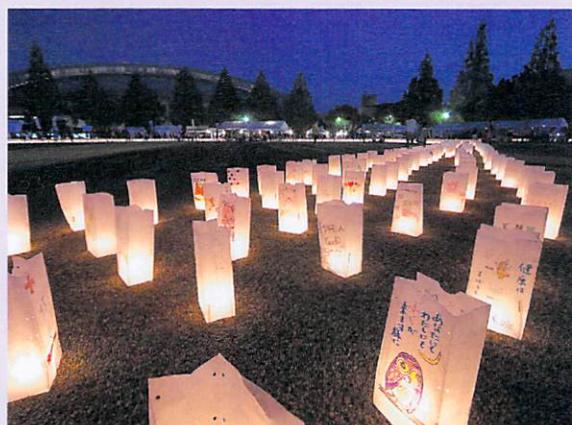
群馬県においては今回が2回目の開催で、2日間の日程で延べ6,100人が参加しました。開会式には今年のゆるキャラグランプリにて堂々の1位に輝いた、ぐんまちゃんをはじめ、県内各地のゆるキャラが応援に駆けつけてくれました。

また、イベント会場では参加施設や協賛団体の趣向を凝らした屋台が立ち並び、ステージではプラスバンドの演奏やご当地ヒーローショーなどが催され、リレーウォーク以外のイベントも盛況の様子でした。

やがて日がかたむきはじめると夕暮れの会場にろうそくの優しい灯りがともりはじめます。これは「ルミナリエ」といって、今がんと闘っている方の希望とがんで亡くなった方の鎮魂の願いを込め、思い思いのメッセージやイラストの描いた灯ろうのようなもので、リレーウォークをしているトラックの周回を幾重にも囲むように設置され、サバイバーやそれを支える家族、ケアギバーの想いの強さを感じました。

2日目も朝から様々な催しが行われ、前日同様の盛り上がりを見せ、リレーフォーライフ2014ぐんまは幕を閉じました。

このイベントは一般の方も参加ができるものなので、興味を感じた方はぜひ一度足をはこんでいただき、この活動が広く繋がってがん撲滅のその日まで『いのちのリレー』が続いていくことを願います。



国立病院総合医学会

放射線科放射線技師 屋島 拓



11月14日、15日にパシフィコ横浜で開催された第68回国立病院総合医学会に参加しました。国立病院総合医学会は、年に1回開催される全国の国立病院機構の職員が集まる学会です。学会会場では、学会参加者による発表や医療機器メーカーによる機器展示などが行われていました。

今回、私は「屈曲制限がある患者の尺骨神経溝撮影法の検討」というテーマで発表しました。尺骨神経溝とは、肘関節の内側にある尺骨神経が通る溝です。尺骨神経の障害が疑われる場合、骨折や関節の変形により神経が圧迫されていないかを確認するために尺骨神経溝をX線撮影します。一般的な撮影方法では肘関節を深く曲げて撮影するのですが、痛みにより十分に曲げられない場合があります。そこで、患者さんの負担を少なくするために肘関節をなるべく曲げずに尺骨神経溝を撮影する方法について検討しました。

学会で発表するのは初めてでとても緊張してしまい、うまく説明できなかった部分もありましたが、上司に見守られる中で多くの方々に発表を聞いて頂くことができました。また、会場では診療放射線技師以外の職種の方々の発表も行われており、多くのことを学ぶことができました。学会発表を通じて学んだことを少しでも今後の日常業務に役立てていければと思います。



DMAT関東ブロック訓練



企画課医事係 関根 宏明

沼田病院は、11月29日に行われたDMAT関東ブロック訓練に参加しました。

DMATというのは、地震などの災害が起きたとき即座に被災地に行き、いち早く災害でけがをした人たちを診療する病院保有のチームです。沼田病院には現在、外科の六本木先生をリーダーとするDMATチームがあり、今回の訓練に参加することになりました。

今回は沼田病院に関東各地から参加の3チームが来院し、当院のチームと合わせ4チームでの訓練を行いました。群馬県南部で震災が発生した想定での訓練で、当院にもたくさんの患者さんが運び込まれました。搬送された患者さんを重症度に応じて分け、診療の優先順位を決める訓練や、当院で診療しきれない患者さんは、実際の救急車を使い他院に搬送するなど、救急隊員とも連携を深めることができました。

他のDMATチームとの連携や、情報の共有など、今回の訓練で見えてきた問題点を見直し、今後も災害拠点病院として役に立っていきたいと思っております。



花粉症と薬

薬剤科薬剤師 望月 秀昭



①症状のメカニズム

私たちの体には、ウイルスや細菌などの異物が入ってきたときに体内に「抗体」がつくられ、これら外敵から身を守ろうとする「免疫」というしくみがそなわっています。ところが、普段、食べ物や花粉など私たちの体に害を与えない物質に対しても「有害な物質だ！」と過剰に反応して、攻撃をし過ぎる結果、不快な症状を引き起こしてしまうのが「アレルギー」です。本来は体を守るはずの反応が、過剰に反応してしまうアレルギー反応に変わるのです。

花粉症はアレルギーの1種で、主にくしゃみ、鼻水、目のかゆみなどを引き起します。

花粉症の原因としてはスギ花粉が1番多く、花粉症患者の7割といわれます。スギ以外にもヒノキ、シラカバ、ハンノキ、ケヤキ、コナラなどの樹木、またカモガヤ、ブタクサ、ヨモギなどの草花の花粉も花粉症を起こすことが知られています。スギ花粉は主に2月～3月にかけて多く飛散しますが、花粉症の種類によっては1年中症状が出てしまう人もいます。

②治療薬

薬物治療として花粉症を引き起こす「ヒスタミン」や「ロイコトリエン」といった物質を抑える薬が主流になります。

ヒスタミンを抑える薬には第1世代と第2世代があり、効き目は第1世代の方が強いのですが、副作用として眠気などが出ることが多く、最近ではほとんど第2世代が使われることが多いようです。

お薬は患者さんの状態を見ながら種類や用法、用量などを決めていきます。また症状によって1種類だけではなく複数の薬を併用していくこともあります。



地域医療連携室だより 地域包括ケア病床開設

地域医療連携係長 田中 敦子

当院では、平成26年11月に「地域包括ケア病床」を開設いたしました。

「地域包括ケア病床」とは、急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安がある患者さんに対し、在宅等に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病床です。また、在宅療養中や施設入所中の患者さんで入院が必要となった時、在宅医、嘱託医から依頼を受けて支援します。

入院期間は、状態に応じ調整いたしますが、60日を限度としております。

在宅復帰や施設での生活に向けて、心身が回復するよう医師や看護師等により治療・支援を行います。また、地域包括ケア専任の医療ソーシャルワーカーが患者さんの退院支援、退院後のケアについてもサポートし、支援させていただきます。

在宅療養中又は施設入所中の方で、上記の入院・ケアを必要とする患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ、ご連絡いただければ幸いです。

国立病院機構沼田病院
地域医療連携室
電話：0278-23-3972
FAX：0278-23-2157

新任職員紹介



メディカルアシスタント 角田 成美

12月より採用になり、メディカルアシスタントのお仕事をさせていただくことになりました。未経験のためご迷惑をお掛けしますが、早く仕事を覚えられるよう頑張ります。

よろしくお願いします。

沼田病院の外来受診のご案内

1. 外来診察の受付時間は8:00~11:30です。

午後は小児科のみ 14:30~16:30 に受付を行っております。また、検査・手術・特殊外来等の予約患者さんに対応しております。

2. 土・日・休日・夜間の受診について

土・日・夜間は、緊急性のある患者さんに対応しています。

特に、夜間は救急車で搬送される患者さんを優先して診察を行っています。

そのため、軽傷の患者さんは待ち時間が長くなったり、翌日の診察を勧める場合もありますので、ご了承下さい。

体調不良を感じましたら、できるだけ午前中8:30~11:30までに受診されることをお勧めします。

病院ボランティア募集

あなたのやさしさを、あたたかいふれあいを、あなたの助けをお待ちしております。

* * * * 活動内容 * * * *

○外来での総合案内

診療科・検査科・放射線科への案内、車椅子介助、診療申込書等の代筆、受付機の取り扱いなど

○植木・花壇の手入れ

○入院患者さまの話相手、朗読

○芸能、音楽など

* * * * 問い合わせ先 * * * *

地域医療連携室 MSW 小淵(おぶち)まで

看護師募集

ゆったりと、思いやりのある看護を志す方を求めていきます。

1. 看護単位 :

病棟(3) 手術・中央材料室 外来

2. 看護方式 :

固定チームナーシングと受持看護を併用

3. 勤務体制 :

4週8休 3交替制

4. 卒後教育 :

クリニカルラダーに沿った充実した経年別教育

詳しい内容についての問い合わせは
総看護師長室 まで

編集後記

本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は豪雪・豪雨による災害、御嶽山の噴火と本当に大きな災害の多かった年でした。

今年こそ皆様にとって良い年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

地域連携室広報 HP 委員会委員 小淵 匡

外来診療担当医師一覧表

平成27年1月現在

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
総合内科1	午前	飯塚(光)	飯塚(圭)	高橋(新患のみ)	内科医師	根岸	
総合内科2	午前	迫	武井	飯塚(光)	桑原	高橋(新患のみ)	
総合内科3	午前	大塚	林	根岸	武井	林	
小児科	午前	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	高橋・(湯原)	湯原	
	午後 14:30~16:30	湯原・(高橋)	高橋・(湯原)	湯原	(予防接種)	湯原・(高橋)	
総合外科1	午前	戸谷	前村	岩波	岩波	六本木	
総合外科2	午前	三木			戸谷		
整形外科	午前 ~11:00	一	高澤	一	大澤	一	
	午後	一	一	一	割田(予約制) (隔週)	一	
泌尿器科	午前	伊藤(完全予約制)		一	一	一	
婦人科	午前 ~10:45	(隔週)			松井		
眼科	午後 13:15~	米谷(予約制) (隔週)					
耳鼻いんこう科	午前				高安		
放射線治療科	午前	見供(新患)	見供(再診)	見供(新患)	見供(再診)		
画像診断科	午後		柴				
	午前		守屋		新井		倉林
午後							

専門外来診療一覧表

※は、基本的に予約又は紹介

診療科	診療日	月	火	水	木	金	土
内科(肝臓・消化器)			大山 13:30~15:30				
消化器科外来	※14:00~16:00 (完全予約制)			※14:00~16:00 (完全予約制)			
乳腺・内分泌外来				14:00~16:00	※お手数ですが、乳腺内分泌外来を受診希望の方は事前に当院までお問い合わせお願いします。		
糖尿病外来					※常川 9:00~11:30		
フットケア外来	※13:00~15:00						
喘息・アレルギー呼吸器外来		久田・秋山 (完全予約制) 14:00~16:00				桑子 (完全予約制) 14:00~16:00	
循環器内科外来	※林(完全予約制) 13:00~16:00			※林(完全予約制) 13:00~16:00		※飯塚(完全予約制) 14:00~16:00	
心臓血管外科外来				月1日(群大Dr) 14:00~16:00			
肝臓外来						※大塚(完全予約制) 14:00~16:00	
看護外来						※外来看護師 13:00~16:00	
がん看護外来	10:00~15:00	10:00~15:00	10:00~15:00			10:00~15:00	
セカンドオピニオン外来	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
緩和ケア外来	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
リハビリテーション	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
糖尿病教室(無料)	14:00~15:00	11:00~12:00	11:00~12:00	15:00~16:00	11:00~12:00		
内分泌外来	※根岸 14:00~16:00						
禁煙外来				※桑原・根岸 14:30~16:00			

■□ 上記のほか臨時に休診・代診となることがありますので正面玄関入り口の掲示板をご確認ください ■□

診療時間 午前8:30~午後5:15

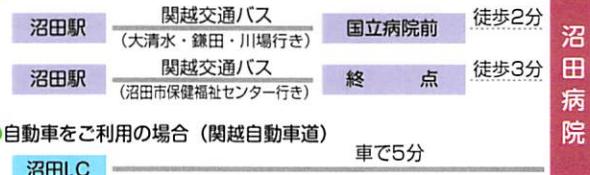
診療受付時間 午前8:30~午前11:30 (予約の再診及び専門外来を除く)

診療日 月曜日~金曜日(祝日、12月29日~1月3日は除く)

面会時間 全日午後1:00~午後8:00 ご面会の方はスタッフステーションで病室をご確認の上ご面会下さい。

交通案内図

●JR上越線をご利用の場合



当院が所在する地域の尾瀬の「水芭蕉」を図案化したものです。中央に沼田病院を英字で表示しました。(テーマ: 地域に根づく医療)